

～みんなが元気で、誰にもやさしい坂のまち～

ふるさと見どころマップ

善行

ZENGYO MAP



善行地区は藤沢市のほぼ中央にあります。境川と引地川に挟まれ、開発は進んでいますが、森、川、堂や野鳥のすむ里山や田畑もたくさんあります。

地区の拠点である善行市民センター・公民館は、小田急線善行駅の南側高台にあり、この付近には昔、善行寺というお寺があって、善行という地名の由来になったとも伝えられています。坂道に象徴されるまち善行の歴史は古く、さまざまな史跡や名跡があります。

善行かるた



善行地区郷土づくり推進会議が、2016年に作成しました。地区の風景や公園・建物が読み込まれた読み札と、地元の子もたちによる素朴であたたかみのある絵札を通じ、マップと併せて、地区のさまざまな魅力を再発見できます。販売・貸出も行っていますのでぜひ活用ください。

表紙写真：善行写友会（善行公民館登録サークル）

参考文献：ぜんぎょうを知ろう！ふるさと再発見 ～善行の古道を歩いて名跡を訪ねる～（2014年3月発行）、善行大好き ふるさと発見！マップ（2011年3月発行）、地域経営会議「ぜんぎょう」ニュース第15号（2012年9月発行）

善行 ふるさと見どころマップ：第1版 2022年10月 発行：善行地区郷土づくり推進会議 〒251-0871 藤沢市善行 1-2-3 善行市民センター内 ☎0466-81-4431

ふるさと見どころ

善行地区

「新編相模国風土記稿」に永享のころ（1438年）小栗判官の子小次郎助重がここで強盗を殺したとある。真実のほどは？

明治維新まで全庵寺にあった薬師堂がある

弘化3年（1846年）に建立、座間の「皇の谷観音寺」までの道にある、7つ村の名前が別まっています。（善行寺、円行、鳥井野、土棚、落合、深谷、寺尾）

昭和49年 2万～40万年前のナウマン象の白骨の化石が出土した

善行から藤沢への道だった。善行寺にちなんだ名前

養経の首級を運んだといわれる薄山街道は八王子横山から相模野を絶えず行き来したので自然にできた道です

※遺跡や旧跡については、私有地のため立ち入れない場所があります。またその位置などについては諸説があり、解明されていないものや場所が確定されていないものがありますので、参考としてご覧ください。

イラスト ひぐちがよ

善行

坂のあるまち
善行は坂のまちです。善行地区には、古くから由来のある名称がついている坂がいくつもあります。2012年には、地区内の坂道（9か所）の愛称を募集し、親しまれています。坂の先には、たくさん隠れた魅力がいっぱいです！

一 聖坂
ひびき坂
付近に「聖ヶ谷（ひじりがやと）」の地名が現存している坂です。

二 朝日坂
あさひ坂
朝日かきれいな坂です。朝早くから元気をもらうことができます。

三 神社坂
じんしゃ坂
善行からたて「狛犬がみんなを見守る 善行神社」と詠まれている善行神社の前を通る坂です。神社には、昔の地名などが刻まれた石塔なども残っています。

四 椎名坂
しいな坂
椎名谷公園の名称に由来した坂です。善行からたては「しいなやは表情豊か 四季おりおり」と詠まれ、高台で見晴らしは最高です。

五 善行寺坂
ぜんぎょうじざか
善行の地名の由来といわれる善行寺にちなんだ坂です。高台のため眺望が良く、夜景もきれいです。善行寺については、詳しい文獻が残っており、”まぼろしの寺”と呼ばれています。

六 ふれあい坂
ふれあいざか
小田急江ノ島線善行駅や善行市民センター・公民館などに連なり、人々とのふれあいの最も多い坂です。

七 スポーツ坂
スポーツざか
県立スポーツセンターを利用する人々が多くなる坂です。敷地内には、1932年に藤沢カンツリー倶楽部のクラヴィウス（国登録有形文化財）があります。

八 えしやく坂
えしやくざか
人々が行き交う際に、「どうも、どうも」と会釈をする坂です。善行からたては「ふじ田と花火かみえる えしやくざか」と詠まれています。

九 修道院坂
しゆどういんざか
修道院の前を通る坂で、古くから地元の人たちも修道院坂と呼んで親しんでいる坂です。

坂のイラスト：中西 隆浩（善行地区在住）